

平成 23 年度 事務事業評価シート 新規 継続 変更

一般ソフト事業 施設等維持管理 行政事務

Main evaluation table with columns for business name, budget, objectives, results, and self-evaluation. Includes sub-tables for financial details and performance trends.

事務事業名	生活習慣病健診	予算事業名		担当課	健康福祉課
会計名称	一般会計	予算科目	4 款 1 項 6 目	所属長名	角森 輝美
総合計画での位置づけ	誰もが安心して暮らせる健康福祉のまち			担当責任者名（記入者）	物袋 由美子
				電話番号（内線）	
事業の性格	内部管理事務	法定事務	法令根拠等	健康増進法、高齢者の医療を確保する法律、介護保険法	
事業の対象	40歳以上の住民		実施期間	【開始年度】	平成 23 年度
				【終了年度】	平成 年度(予定) 設定なし
事業の目的	生活習慣病予防や異常の早期発見・早期治療のため実施。介護予防のため特定高齢者事業の対象者の把握を実施。相談・指導等を通じて、住民が生涯心身ともに健康に過ごせるように支援。九大久山町研究室と住民の健康管理を実施。		事業の内容	久山町研究室と連携し生活習慣病予防のため、満39歳以上の住民を対象に健診を実施する。同時に、特定健診を実施する（費用は国保）。同時に生活機能評価をする（費用は介護保険）。相談・指導を実施する。	
改善策の具体的取り組み（当初）	特定保健指導の実行率の向上をめざす。生活習慣病予防健診時に、特定保健指導の周知・案内を実施し、理解と協力を得る。特定保健指導対象以外のコントロール不良者の相談・指導をする。		改善策の具体的取り組み（二次評価後）	区長会や老人クラブ・サロン等で健診受診勧奨の呼びかけを行っている。広報等で保健師や九大の医師等が健診や生活習慣病予防について掲載し、健診の必要性や生活習慣病予防について周知している。国保係や介護保険係との連携により、受診の周知や勧奨を実施している。	

（担当己責任者） 評価	妥当性	目的の妥当性	5	A	A	5	目的の妥当性	妥当性	—（所属長） 評価			
		住民ニーズへの対応	4			4				住民ニーズへの対応		
		町の関与の妥当性	5			5				町の関与の妥当性		
	有効性	事業の効果	4	B		B	4			事業の効果	有効性	
		成果向上の可能性	5				5					成果向上の可能性
		施策への貢献度	4				4					施策への貢献度
	効率性	手段の最適性	5	B		B	5			手段の最適性	効率性	
		コスト効率	4				4					コスト効率
		受益者負担の適正	4				4					受益者負担の適正
課題認識	生活習慣病予防のために、当日の血液検査結果をもとに、医師や保健師が健康相談や指導を実施し、生活改善による健康の維持・増進をめざした。今後健診結果をもとに重症化の可能性のある住民に対して訪問指導等の実施を増やしていく必要がある。				<p>自己評価は、担当者が主に事業推進を効率的効果的に進めたかどうかを評価したもの。</p> <p>一次評価は、担当者の自己評価を踏まえて施策の推進を念頭に置き、所属長が評価したもの。</p>				課題認識			
住民が満足する生活習慣病予防健診はどうするか？住民本位で考え、健診受診者の相談・訪問等を含めた活動を行うことが、受診率向上につながると思う。												

施策を踏まえた判断	二次評価	一次評価結果より以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	→	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		一次評価結果のとおり事業継続と判断する。		
		一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
		九大と連携して行う久山町健診の意義の啓発と成果についての住民へのフィードバックの方法内容について検討する。九大・町内開業医・役場との連携について再度認識をする		
		一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。		
		住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。		
		一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。	→	外部評価委員会で評価する。 答申期限： 月 日
		一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。		

外部評価委員会の答申	外部評価	<p>答申の内容</p> <p>（評価：A・・・計画どおり事務事業を進めることが適当である）</p> <p>事業については必要性が高く、今後も継続して取り組むべき事業であるが、受診率向上に向けた取り組みの検討が重要である。</p>
------------	------	---